

平成 29 年 4 月 7 日

各 位

会 社 名 インターライフホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 及川 民司
 (J A S D A Q ・ コード 1418)
 問 合 せ 先 役職・氏名 広報・IR 室長 川島 仁
 電 話 03-3547-3227

連結業績予想の修正および個別業績予想の修正ならびに

特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月期の決算において、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 1 月 13 日に公表した平成 29 年 2 月期連結業績予想および平成 29 年 2 月期個別業績予想を下記の通り修正いたしました。また、特別損失（のれん等の減損損失）が発生することになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

平成 29 年 2 月期 通期 連結業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,840	250	170	100	5.08
今回修正予想(B)	19,082	257	222	72	3.71
増減額 (B - A)	△758	7	52	△28	
増 減 率	△3.8%	2.8%	30.6%	△28.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月期)	18,672	299	269	259	13.19

2. 修正の理由

平成 29 年 2 月期の通期業績は、当社が行う不動産事業において、収益物件の売却や不動産の仲介業務などが堅調に推移したこと等が影響し、営業利益、経常利益において計画を上回ることになりました。

しかしながら、連結子会社である株式会社ジーエスケー（以下、ジーエスケー）の株式取得時に発生したのれんについて、ジーエスケーを取り巻く環境の変化ならびに収益改善に向けた取り組みの遅れなどにより、当初策定した計画を下回って推移していることから、今後の計画の見直しを行い、回収可能額を慎重に検討しました。その結果、当初想定期間内での回収が困難であるため、ジーエスケーに係るのれんの減損損失を約 131 百万円計上する見込みとなりました。また、連結子会社が保有する投資有価証券評価損 20 百万円の発生もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は、計画を下回ることになりました。

連結業績予想の修正における、1 株当たり当期純利益は、株式給付信託導入に伴い資産管理サービス信託銀行株式会社（信託 E 口）が所有する当社株式を控除対象の自己株式に含めて算出しております。

3. 個別業績予想の修正について

平成 29 年 2 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,120	449	477	24.24
今回修正予想(B)	1,712	717	762	39.10
増減額 (B - A)	592	268	285	
増 減 率	52.9%	59.7%	59.7%	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月期)	714	87	215	10.93

5. 個別業績予想の修正の理由

平成 29 年 2 月期通期個別業績予想につきましては、当社が行う不動産事業において、収益物件の売却や不動産の仲介業務などが堅調に推移し、当初の計画を大きく上回る結果となったことから、平成 29 年 2 月期個別業績予想を修正いたしました。

6. 配当予想について

平成 29 年 1 月 13 日に公表した配当予想（4 円）の修正はございません。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上